

シリーズ「脳卒中が怖い理由」

(その2)「脳卒中にかかる人って多いの？」

(1) 今は死亡原因の3位。以前は1位でした。

日本は、昔から脳卒中の多い国でした。昭和26年に結核にかわって死亡原因の第1位となつてから、昭和55年まで首位を突っ走っていました。昭和56年にがんが首位の座を奪われました。昭和60年には心疾患に第2位の座を奪われ、現在まで死亡原因の第3位です。

(2) 脳卒中で亡くなる人が減っているだけで、

脳卒中にかかる人が減っているわけではありません。

死亡原因の1位から3位に転落したと聞くと、「脳卒中は減っている」と感じがちですが、そうではありません。脳卒中で亡くなる人が少なくなっているだけで、脳卒中にかかる人が減っているわけではないのです。

脳卒中の総患者数は124万人もいます。死因トップであるがんは総患者数が153万人ですから、脳卒中の患者の数自体が少ないわけではないことがわかりでしょう。

(3) 脳卒中で亡くなる人は年間12万人

脳卒中で亡くなる人は年間12万人で、死因の第3位です。

第1位であるがんで亡くなる人は、その倍くらいです。

ちなみに、交通事故で亡くなる人は年間1万人くらいです。